

第5学年-Unit9 単元名 Who is your hero? あこがれの人 (5/5時間)

1. 単元目標

- ・自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。
(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)
- ・第三者が得意なことを表す表現に慣れ親しむ。また、文字を読んだり書いたりすることに慣れ親しむ。
(外国語への慣れ親しみ)
- ・英語と日本語では、書き方に違いがあることに気付く。
(言語や文化に関する気付き)

2. 表現・言語材料

○Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis). [He/She] is a good (tennis player).

[He/ She] can (cook well). [He/She] is [kind/ cool/ great/ strong/ gentle/ active/ brave/ funny].

○hero,状態・気持ち(active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)

時間	児童の活動	指導者(T)の活動と使用英語例 ◎評価<方法>	準備物
1分	・挨拶をする	・全体に挨拶し、個別に数名の児童にも挨拶する。	
9分	○Activity 2(p.72)発表	<p>・5年生最後の授業に当たり、しっかりと相手意識をもって自分のヒーローを人前で紹介できるようにする。相手意識を持って自分のヒーローを人前で紹介できるためには、これまでにモデルとなる紹介を聞いたり、ペアで第三者についてできることや得意なことを含めて伝え合ったりする活動を、十分にしていることが大切である。</p> <p>・5年生最後の発表ということもあり、今回の発表では、誌面のスピーチ原稿を参考に発表させる。音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を使って表された第三者についての説明文を書き写し、自分の伝えたい原稿を作成し、それをもとに発表させる。</p> <p>・まず教師がモデルスピーチを行う。</p> <p>・個人で練習を行い、次にペアで行い、アドバイスをし合う。</p> <p>・スピーチの形ができてきたら、スピーチ後のやりとりについて練習をする。聞き手が感想を伝えることを目標とする。Your hero is cool./I see./I like your speech.など</p> <p>・発表も大切であるが、「聞く」ことも大切である。聞き取れたことをメモしたり、感想を伝えたり、質問したりするなど、聞く必然性が生まれるよう工夫する。</p> <p>・また、全員の発表が終わったら、児童が作成した原稿を指導者が投影機で映し出し、指導者がそれを読み、児童にそれは誰が書いたものかを当てさせることも可能である。さらに、原稿から読み取れる単語を発表させるのも工夫である。</p> <p>※文字は、時と場を越えて思いを伝えることができるとともに、記録としての役割もある。</p>	文部科学省ワークシート (Unit9-1,2,3,4,5)使用可
マイヒーローのスピーチを発表しよう。			
30分	○スピーチ発表	<p>・一人30秒を目安に、前に出てスピーチを発表させる。</p> <p>◎自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとしている。(コミュニケーションへの意欲・関心・態度)〈行動観察・ビデオ撮り・振り返りカード〉</p>	
5分	・本時の活動を振り返り、振り返りカードに記入する。・挨拶をする	<p>・本時のねらいに照らして児童を評価する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード